

# 令和元年度 学校自己評価アンケートの 結果から

218家庭中、180通の回答

回答率 H29 ⇒ H30 ⇒ R1  
68% 86% 83%

長野養護学校

学校評価アンケートへのご回答、

ありがとうございました。

今年度は218家庭中、180通の回答を  
いただきました。回収率は83%、昨年度の  
86%に続き、高い回収率でした。

評価項目を新しくして3年目になります。

以下の3つの重点にかかわって、過去3年間の比較で結果を考察します。

- I「子どもの人権を大切にした教育実践を進める学校」
- II「保護者と対話、思いや願いを受け留める学校」
- III「連携—関係機関・地域」

# 子どもの人権を大切にした教育実践

## 1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	60%	27%	11%	2%	1%
中段 H30	56%	29%	10%	5%	0%
下段 H29	54%	35%	9%	2%	1%
職員	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまりあてはま らない	E あてはまらない
	29%	61%	10%	0%	0%
地域 諸機関	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまりあてはま らない	E あてはまらない
	46%	50%	4%	0%	0%

# 1 学校教育目標・学校像 楽しい学校生活であるか

○ AB評価 89%(H29)⇒85%(H30)⇒87%(R1)

× DE評価 3%(R1)    △ C評価 11%(R1)

- 「学校が楽しいようで、にこにこしながら行っています。」、「学校でのできごとを、よく話してくれるようになった。」、「子どもに沿った個別指導ができています。子どもが学校を楽しんでいる姿がある。」、「達成感を得られるような活動をもっとしてほしい」等の意見がありました。
- 子どもたちが毎日笑顔で登校できるのは、職員にとってはとてもありがたいことです。「学校に行ったらあれをしたい、これもしたい」、「明日も学校に行くのが楽しみだ」と思えるような、満足感や達成感を感じられる生活づくり、授業づくりを今後も目指していきたいと思えます。

# 子どもの人権を大切にした教育

## 1 学校教育目標・学校像 選んでよかったか・相応しいか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	62%	31%	7%	1%	0%
中段H30	67%	22%	9%	2%	0%
下段H29	61%	33%	5%	1%	1%
職員	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
	20%	71%	9%	0%	0%
地域 諸機関	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
	50%	46%	4%	0%	0%

# 1 学校教育目標・学校像 選んでよかったか・相応しいか

○ AB評価 94% ⇒ 89% ⇒ 93%

× DE評価 1%    △ C評価 7%

9割以上にUP!

- 「信頼できる先生に指導してもらい、大変な時も一緒に考え支えてもらいました。長養でよかったです。」「いろいろなことにチャレンジさせてくれるので、この学校を選んでよかった。」「もう少し教科学習、に近いこともやってほしい」、「勉強も少しは取り入れてほしい」等の意見がありました。
- 多くのご家庭で「長養を選んでよかった」と回答していただき、安心して学校に通わせてもらっているのではないかと思います。今後もご家庭のお考えをお聞きしながら、子どもたちが安心して学べる学校を目指していきたいと思ひます。

# 子どもの人権を大切にした教育

## 2 人権を尊重した接し方・学校づくり 人権に配慮した、指導・支援

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	51%	40%	8%	1%	0%
中段 H30	47%	43%	9%	1%	0%
下段 H29	45%	48%	6%	1%	0%

○ AB評価 93% ⇒ 90% ⇒ 91%  
× DE評価 1%    △ C評価 8%

A評価がUP!



# 子どもの人権を大切にした教育

## 2 人権を尊重した接し方・学校づくり

### いじめや体罰がない学校環境

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	53%	37%	8%	1%	1%
中段H30	49%	38%	12%	0%	1%
下段H29	54%	38%	7%	0%	1%

○ AB評価 92% ⇒ 87% ⇒ 90%  
× DE評価 2%    △ C評価 8%

9割がAB評価

## 2 人権を尊重した接し方・学校づくり

### 人権に配慮した、指導・支援、いじめや体罰がない学校環境

- 「クラス、学年、作業班ともに、とても仲の良い雰囲気、先生方の対応もよいと思う」、「子どもに寄り添っていただいているように感じる」等の意見の一方で、「様子がよく分からない」、「本人が話せないので、正直分からない。」、「気になるようなこともある」、「たまにアザがあって、どうしたのか気になる」という意見もありました。
- 学校では引き続き職員会や部会、学年会等で子どもたちの様子を話題にし、共通理解を図っていくようにします。併せて人権に対する研修も行い、**人権感覚の向上**に努めていきます。学校での様子も連絡帳やおたよりなどで、できるだけ具体的にお伝えしていくようにしたいと思います。

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 3 個に応じた指導 個別の指導計画に 保護者の願いが反映されているか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	46%	46%	8%	0%	0%
中段H30	46%	45%	7%	2%	0%
下段H29	46%	44%	8%	2%	0%
職員	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
	19%	73%	7%	1%	0%

### 3 個に応じた指導

#### 個別の指導計画に保護者の願いが反映されているか

○ AB評価 90% ⇒ 91% ⇒ 92%  
× DE評価 0%    △ C評価 8%

9割以上がAB

- 「本人、保護者の希望をよく聞いて計画を立ててくれている。」、「個別懇談など先生と話す機会をしっかりと作ってくれ、こちらの希望もすぐ実践してくれた。」などの意見がありました。一方で「先生の願いにそった短期的な目線である」などの意見もありました。
- 「個別の指導計画」作成については、大方、保護者の方の願いを反映させながら作成できているものと思われませんが、**実際の生活場面や授業場面で生かされているか**という点、まだまだ不十分なところがあるようです。

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 3 個に応じた指導 個別の指導計画にそって 授業が実践されているか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	38%	46%	15%	1%	0%
中段H30	40%	43%	12%	4%	1%
下段H29	36%	49%	12%	3%	0%
職員	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
	12%	75%	12%	1%	0%

### 3 個に応じた指導

#### 個別の指導計画にそって授業が実践されているか

○ AB評価 85% ⇒ 83% ⇒ 84%  
× DE評価 1%    △ C評価 15%

- 「同じような授業内容、個別指導が多い気がします。」、「個々の能力に応じた活動を取り入れてほしい。めいっぱいが生かされていない気がする。」、「指導計画はよいが、授業を一日見ているわけではないので、分からない」などのご意見がありました。
- 「個別の指導計画」を実際の生活場面や授業場面でどのように生かしていくのか、また実践していることをどのように保護者の方に伝え、共通理解しながら支援、指導を進めていくのかが、今後の課題と言えるかと思えます。

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 4 チーム支援

### 職員の子どもも理解・特性に応じた支援

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	46%	43%	9%	2%	1%
中段H30	45%	44%	8%	1%	1%
下段H29	37%	53%	8%	2%	0%

○ AB評価 90% ⇒ 89% ⇒ 89%  
× DE評価 3%    △ C評価 9%

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 4 チーム支援 職員の連携

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	48%	41%	9%	1%	1%
中段 H30	46%	43%	9%	1%	1%
下段 H29	41%	51%	8%	0%	0%

○ AB評価 91% ⇒ 89% ⇒ 89%

× DE評価 2%    △ C評価 9%

A評価がUP!



## 4 チーム支援 職員の子どもも理解・特性に応じた支援、連携

- 「先生方の連携がとれていて、個々の子どもに寄り添ってくれるのでありがたい。」、「とても理解してもらっています。」などの一方で、「声がけはよくしてくださるが、実態は分かっておられないと感じる。」「情緒や身体的に重い子が優先という感じがします。児童みんなに平等な支援をしてほしいです。特性だけでなく、性格にも応じてほしいです。」などの意見もありました。
- 「子どもの理解、特性に応じた支援」については、大方の保護者の方はなされていると感じていますが、不十分と考えている方もいます。「個別の指導計画」をもとに、引き続き部内、学年学級内で児童生徒理解を深め、**職員が連携して支援**を進めていくようにしたいと思います。また今年度も様々な研修の機会を設け、**専門性の向上**に努めてきました。今後も児童生徒の支援に生かせるよう、研修を進めていきます。

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 5 保護者との連携

保護者と職員との連携 安心感・信頼感があるか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	51%	36%	11%	2%	1%
中段 H30	48%	35%	14%	2%	1%
下段 H29	40%	50%	9%	2%	0%

○ AB評価 90% ⇒ 83% ⇒ **87%**  
× DE評価 **3%**    △ C評価 **11%**

A評価がUP!

# 保護者と対話し、その思いや願いをしっかりと受け止める学校

## 5 保護者との連携

保護者の思いに寄り添えて 誠意をもって応えているか

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	49%	38%	11%	1%	1%
中段 H30	45%	38%	15%	1%	1%
下段 H29	40%	53%	6%	2%	0%

○ AB評価 93% ⇒ 83% ⇒ **87%**

× DE評価 **2%**    △ C評価 **11%**

A評価がUP!

## 5 保護者との連携

### 保護者の思いに寄り添えて 誠意をもって応えているか

- 「先生方と相談しやすく、いろいろ対応してくださるので、安心して子どもを預けられます。」「子どもを中心に考えてくれる姿勢に、とても感謝しています。」などの意見の一方で、「先生方の間に温度差があると感じることがある。」「安心感のある先生と、そうでない先生がいる。」「活動の意義が知りたい。生単でやっている活動にどのような意味があるのか。」といった意見もありました。
- 「保護者との連携」について、大方の保護者の方は「安心感、信頼感がある」、「誠意をもって応えている」と感じていただいているようです。ただ、職員によって対応に差があることも指摘されています。学年や学級内で連絡を密にとりながら、どの職員も保護者の方と連携して支援にあたっていけるようにしたいと思います。また、**学習活動のねらいや意義などについて引き続きお伝えしていくようにします。**

# 関係機関や地域と連携・特別支援学校の役割

## 6 地域との連携 センター的機能の発揮

### 福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画

保護者	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
上段 R1	50%	38%	10%	1%	1%
中段 H30	42%	43%	12%	3%	0%
下段 H29	41%	47%	11%	1%	1%
職員	A とても あてはまる	B あてはまる	C どちらとも いえない	D あまり あてはまらない	E あてはまらない
	29%	62%	8%	1%	0%

## 6 地域との連携 センターの機能の発揮

### 福祉・医療・行政との連携・ニーズに応じた計画的な支援

○ AB評価 88% ⇒ 85% ⇒ 88%

× DE評価 2%    △ C評価 10%

A評価がUP!

- 「支援会議等、こまめに行ってもらってありがとうございます。」「支援会議には大勢の方に参加していただきありがとうございます。引き続き共有して計画的に進めていきたい。」「会議の内容が盛りだくさんで、いつも最後は時間が押して終わりとなってしまふのが残念。」などの意見もありました。
- 支援会議等を通じて各機関と連携しながら、計画的に支援を行うことができていると感じているようですが、支援会議の運営の在り方や内容については不十分であったり、有効な支援につながっているのか疑問に思ったりしている方もいるようです。**支援会議の目的の明確化、効率的な会議の進め方等を工夫し、有益な支援会議となるようにしていきたい**と思います。

# 学校自己評価のまとめと来年度への展望

- 1 学校教育目標・学校像⇒目指す姿「自分から自分でめいっぱい」の共有
- 2 人権を尊重した教育⇒「わたし(あなた)はわたし(あなた)のままでいい」意識の共有、自己肯定感のさらなる伸長
- 3 個に応じた指導⇒「個別の指導計画」のさらなる精度の向上、保護者への説明・共有
- 4 チーム支援⇒児童生徒の願いに寄り添い、職員間での連携した支援専門性のさらなる向上
- 5 保護者との連携⇒目指す姿の共有、説明責任
- 6 地域との連携⇒支援会議のねらいの明確化、情報の共有、支援資源活用力のさらなる向上